



## 平野優芽選手が区長に初優勝を報告

インドネシアで開催された第18回アジア競技大会で、女子7人制ラグビー日本代表「サクラセブンズ」が初優勝を果たしました。今日9月6日、そのチームの最年少メンバーで、決勝戦でも唯一のトライを決め大活躍した平野優芽選手が、杉並区長を訪ね優勝を報告しました。

平野優芽選手は、2000年3月15日生まれの18歳で、杉並区に生まれて現在も区内在住です。小学1年から杉並少年ラグビースクール（宮島郁夫校長）でラグビーを始め、地元の区立松ノ木小、区立松ノ木中、そして私立東亜学園高を経て、2018年4月に日本体育大入学。現在は日本体育大学ラグビー部の女子チームに所属しています。

女子ラグビー日本代表は、前回のアジア大会2014韓国・仁川の決勝で中国に敗れ、惜しくも銀メダルでしたが、今回の大会では平野選手が6試合全てに出場し5トライを挙げる活躍もあり、見事初優勝を果たしました。

### 【アジア大会女子ラグビー日本代表の結果と平野選手の活躍】

試合日	対戦相手	試合結果	平野選手の活躍
8月30日（予選）	インドネシア	65：0（勝利）	1トライ
8月30日（予選）	カザフスタン	31：21（勝利）	1トライ
8月31日（予選）	タイ	26：0（勝利）	2トライ
8月31日（予選）	韓国	35：7（勝利）	
9月1日（準決勝）	カザフスタン	26：12（勝利）	
9月1日（決勝）	中国	7：5（勝利）	1トライ

9月6日、平野優芽選手は、アジア大会の金メダルを胸に、地元杉並区の田中良区長を表敬訪問しました。平野選手は、「小学校1年生の時に杉並でラグビーと巡り会って本当によかったと思います。この優勝で満足することなく、2020年の東京オリンピックでのメダルを目指したい。」と力強く話しました。



### 【問い合わせ先】

区民生活部スポーツ振興課 03-3312-2111 内線 1671